



広報

すみだ

2016

2

No677



4月になったら一緒に遊ぼうね！

2/9 世田米小学校「なかよし交流会」

来年度に小学校入学を控える保育園児のための1日体験入学が行われました。この日、園児を迎えた1年生23人は、事前に準備していた小学校にまつわるクイズや、「じゃんけん列車」などのゲームで園児との交流を深めながら、小学校の面白さを紹介。4月の再会を約束していました。

2月の主な内容

- P 2 町制施行60周年記念式典を開催
- P 8 まちの話題『SUMITA うおっちゃんぐ』
- P 11 マナビイ通信
- P 6 平成26年度国民健康保険事業運営報告
- P 10 町総合戦略策定に向けた取り組み状況
- P 12 平成27年度気仙川水質検査結果

豊かな水と緑とともに育まれた60年



町制施行60周年記念式典を開催

2月9日、町では、役場町民ホールを会場に、町内関係者など約170人の出席のもと、町制施行60周年記念式典を挙行了しました。会場では、開式を前に「住田町60年の歩み」を上映。当時の写真などを交えながら、町制施行からのこれまでの歴史を振り返りました。式典では、国歌斉唱、町民憲章唱和に続き、多田町長が「これまでの町勢発展に限りないご支援をいただいた方に感謝と敬意を表すとともに、町制施行60周年を機に、次の時代に向かい町民とともに歩んでいく」と式辞を述べました。

また、菊池孝町議会議長は「住田町が誕生して以来、地域住民の福祉向上に取り組んできた。町民がこの住田に誇りを持ち、安心して住み続けることができる町づくりの実現に向け、今後

も精進を重ねていきたい」と、あいさつしました。来賓祝辞では、千葉茂樹県副知事による県知事からの祝辞の代読に続き、戸田公明大船渡市長、戸羽太陸前高田市長からそれぞれ祝福の言葉が贈られました。

その後、町勢の発展や被災地支援に貢献された5個人9団体に対する特別功勞者表彰を実施。受賞者を代表し、岡田秀二富士大学学長が「私たちはそれぞれの関わりから町の発展を願ってきた。本日の喜びは本当にひとしおであり、感激している。感謝申し上げたい」と、謝辞を述べました。

最後に、世田米中学校2年生が町民歌「幸せ創るまち」を披露。町の未来を担う子どもたちの歌声が響く中、出席者たちは町のさらなる飛躍と発展へ、思いを新たにしていました。

特別功勞者表彰受賞者

- 鈴木 勲 (前ふるさと住田会会長・東京都港区) ふるさと住田会初代会長として、平成27年5月までの永きにわたり、本町と首都圏を結ぶ架け橋となり、同会の運営に多大な貢献をされました。
- 大津 定子 (大津医院院長・大船渡市) 平成4年から本町の乳幼児健診に積極的に協力し、乳幼児の健やかな成長のための保健指導などに多大な貢献をされました。
- 沢田 攻 (岩手大学農学部名誉教授・盛岡市) 森林の科学館基本計画および町地域新エネルギービジョンの策定に尽力し、本町の木質バイオマスエネルギー利用の基盤づくりに多大な貢献をされました。
- 岡田 秀二 (富士大学学長・盛岡市) 林業振興計画の策定や指導に尽力するとともに、FSC森林認証取得などに携わり、本町の森林・林業日本一の町づくりの推進に多大な貢献をされました。
- 佐熊 位 (上有住サン・ヨブ・トークの会長・八日町) 平成16年度に上有住サン・ヨブ・トークの会を設立し、以後、町民俗資料館特別展の中心的立場として、地域の芸術文化の振興に多大な貢献をされました。
- 一般社団法人モア・トゥリーズ (東京都渋谷区) 東日本大震災後、木造仮設住宅の建設費用の支援やペレットストーブを寄贈し、本町の被災地支援に多大な貢献をされました。
- トヨタグループ関係会社16社 平成23年6月より、本町を拠点に、社員による仮設住宅の環境整備などの復興支援ボランティア活動を展開し、本町の被災地支援に多大な貢献をされました。
- 豊田通商株式会社・豊田通商労働組合 (愛知県名古屋) 震災後、巡回型支援員配置のため多額を寄付し、児童・生徒の健全育成に多大な貢献をされました。
- 特定非営利活動法人愛知ネット (愛知県安城市) 平成23年3月より、本町を拠点に被災地救援活動を展開し、仮設住宅入居者が安心して生活できる環境づくりに取り組むなど、本町の被災地支援に多大な貢献をされました。
- 一般社団法人邑サポート (住田町) 平成23年より、本町の仮設住宅団地の自治会の設立や入居者との交流支援などのコーディネート活動を展開し、本町の被災地支援に多大な貢献をされました。
- つながり・ぬくもりプロジェクト (宮城県仙台市) 仮設住宅に太陽熱温水器、太陽光発電による街灯を無償で設置するなど、本町の被災地支援に多大な貢献をされました。
- 一般社団法人子どものエンパワメントいわて (盛岡市) 震災後、町内小中学校の児童・生徒に放課後の学習支援を行い、心のケアと学力の向上に多大な貢献をされました。
- 太平洋セメント株式会社大船渡工場 (大船渡市) 庁舎建設や環境保護のため、多額を寄付し、本町の町づくりの多大な貢献をされました。

住田町町制施行60周年にあたり



住田町長 多田 欣一

昭和30年4月、文化や歴史を共有する1町2村が合併して誕生した住田町が、ここに60周年を迎えることができました。

これまで、多くの先人の方々が英知を結集され、風土の中で培われてきた薫り高い伝統と恵まれた自然を生かし、心を一つに豊かで住みよい町づくりを進めてまいりました。この間、時代の大きなうねりの中、幾多の試練を乗り越え、産業の振興、教育の充実、福祉の向上、生活基盤の整備に努め、着実に一歩一歩前進してまいりました。

本町の発展に寄与されました諸先輩をはじめ、町民の皆さまのたゆまぬ努力と深い郷土愛、ならびに関係

各位の温かいご支援、ご厚情に対しまして、深い感謝の意を表します。

本町では次の10年で、妊娠から出産、そして社会人となるまでの切れ目ない支援や移住・定住・交流人口を促す施策、豊かな地域資源を基盤とした農林業・産業の創出、町民との協働による集落機能の活性化などを進めていくこととしております。行政と町民、さらには本町を応援くださる関係者の多様なお力添えをいただきながら、ともに知恵を出し合い、汗をかきながら、町づくりをまい進してまいります。

今日まで町勢発展のためには限りないご支援をいただき、感謝と敬意を表しますとともに、町制施行60周年を機に、次なる時代に向かってこれからも歩んでまいりますので、皆さまのお一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

町の歴史を振り返る

住田町が歩んできた60年という長い年月を振り返ってみると、そこには、町民の皆さんとともに刻んできた確かな足あとが残っています。今回は、「広報すみた」が記録してきた町政の歴史をたどりま。

◆昭和60年6月 町の花・鳥・木を制定
【広報すみた町制30周年記念特集号】

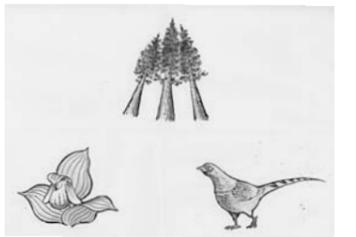


◆昭和30年4月 新生住田町誕生【第1号】

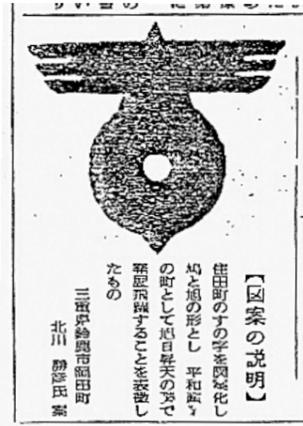
世田米町・下有住村・上有住村が合併し、住田町が誕生しました。また、昭和30年5月に行われた町長選挙により、泉田増治郎さんが初代町長に当選。住田町の歴史を刻み始めました。



白石トンネル開通（昭和42年）



町制施行30周年を記念し、全町民を対象にアンケート調査を実施後、「アツモリソウ」「ヤマドリ」「スギ」を町の花・鳥・木として制定しました。美しい花を咲かせる「アツモリソウ」は人と自然の調和を図る温かい町民性、気品あふれる姿の「ヤマドリ」はかおり高い文化の振興、まっすぐ大空に伸びる「スギ」は町のさらなる発展をそれぞれ象徴しています。



◆昭和32年1月 町章・音頭・小唄決定【第20号】

町章、音頭、小唄を全国から募集し、全4回にわたる審議の末に決定しました。このうち町章は、「す」の字を鳩と旭の形に図案化したもので、発展・飛躍することを表徴しています。



◆昭和50年9月 町民憲章を制定【第197号】

町制施行20周年にあたり、町民全員が今日の住田を考え、明日の住田に思いを馳せていくための一つの心として、町民憲章が制定されました。



ふるさと住田会設立（昭和62年）



◆昭和62年1月 町総合発展計画基本計画策定【第330号】

昭和61年3月に策定した町総合発展計画の基本構想を実現するため、あらゆる分野の現状と課題を分析し、具体的な施策を盛り込んだ計画を策定しました。



第1回すたーおっちんぐ（昭和63年）



世田米バイパスが開通（平成3年）



◆平成23年3月 東日本大震災発生【第618号】

8年間に及ぶ研究の末、全国初の無菌培養によるアツモリソウが開花（平成10年）



◆平成16年10月 「森林・林業日本一のまちづくり」策定【第542号】

第3次林業振興計画として、住田型森林（もり）業システムの構築と「住田町」自身を森林・林業のブランドとして発信していくことを目的に「森林・林業日本一のまちづくり」を策定しました。

◆平成7年12月 町民歌「幸せ創るまち」制定【第435号】



町制施行40周年を記念し、町民歌が制定されました。歌詞は一般公募で、町内外から応募された68点の中から、さわやかで幅広く町民に親しまれるという基準から「幸せ創るまち」が選ばれました。



太平洋沖で起きた巨大地震による大津波で、気仙沿岸は壊滅的な被害を受けました。本町では、いち早く木造応急仮設住宅の建設に着手するなど後方支援を展開。また翌年には、愛知県幸田町と災害時に関する応援協定を締結するなど、防災に強い町づくりを進めてきました。



◆平成26年9月 新庁舎落成【第660号】

役場新庁舎が落成・開庁しました。木造公共施設のモデルとして全国から多くの視察が訪れる中、平成27年には木材活用コンクールにおいて農林水産大臣賞を受賞するなど、木の町の象徴として高い評価を受けています。

国民健康保険事業の健全運営を目指して

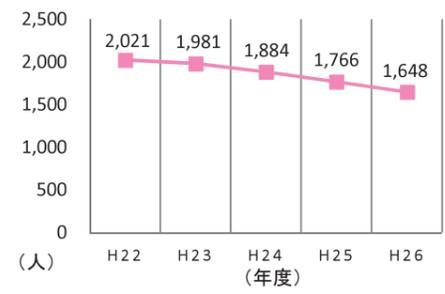
平成26年度事業実績を報告します

国民健康保険（国保）は、町が運営する医療保険です。医療機関を受診した際の医療費は、被保険者の皆さんに納めていただく国民健康保険税のほか、国・県からの負担金などにより賄われています。このたび、平成26年度の国民健康保険事業実績がまとまりましたので、お知らせします。

■被保険者数の状況

本町の国保加入被保険者数は、直近5年間でみますと減少傾向が続いています（図1）。
なお、平成26年度末時点の人口に対し、被保険者数の割合は27・3%（前年度比1・5ポイント減）となっています。

【図1】被保険者数の推移



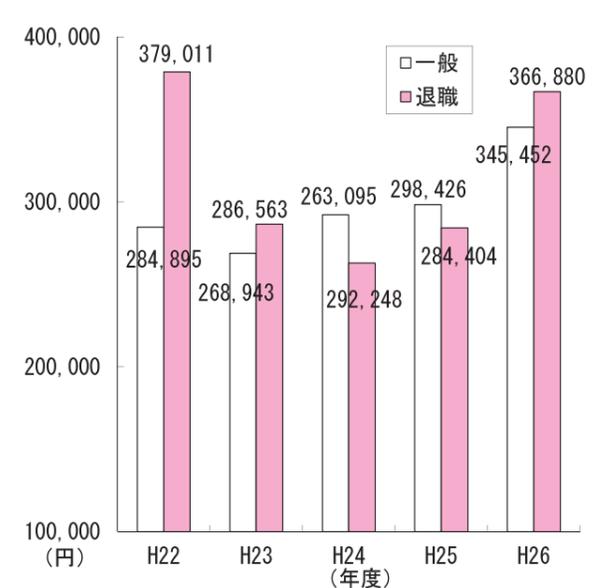
■医療費の状況

図2は、国保の被保険者一人当たりの医療費を、年度別、一般・退職被保険者別に区分したグラフです。
平成26年度の一人当たりの医療費は、一般が約34万5千円、退職が約36万6千円となり、どちらも前年度から増加しています。
なお、本町の医療費は、例年高い水準で推移しています。その中で、平成26年度の一般被保険者の一人当たりの医療費は、県内市町村の中で、2年連続で1番高い数字となりました（退職は4番目）。

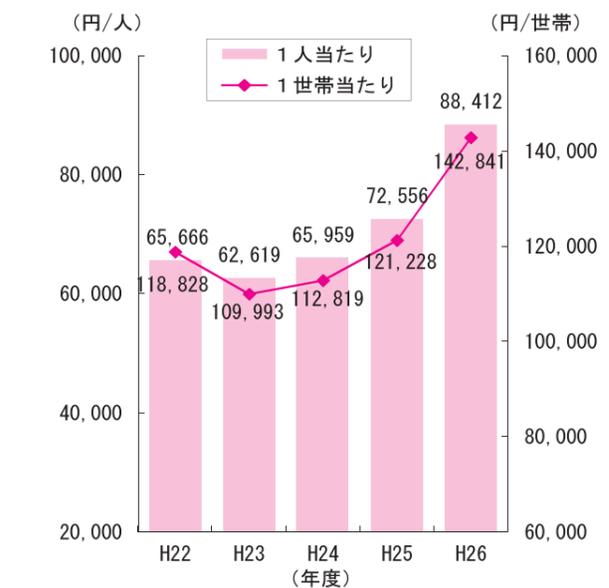
■国民健康保険税の状況

平成26年度の国民健康保険税（国保税）課税額は、一人当たり約8万8千円、一世帯当たり約14万2千円となっています（図3）。

【図2】1人当たり医療費の推移



【図3】国民健康保険税額の推移



【1人】 ・住田町 88,412円 ・県平均 84,354円
【1世帯】 ・住田町 142,841円 ・県平均 140,173円

【一般】 ・住田町 345,452円 ・県平均 258,246円
【退職】 ・住田町 366,880円 ・県平均 286,279円

本町の国保税率については、高齢化の進行や医療技術の高度化などによって、保険給付費などが大きく増加する一方で、収入の根幹となる国保税の収入が、被保険者数の減少などにより低下傾向にあったことから、平成26年度に改正を行っています。

■国保事業の財政状況
本町の国保事業の歳入歳出（前年度繰越金などを除く）の単年度収支は、国保税率の改正が大きく寄与し、約1788万円の黒字となりました。

しかし、前述のとおり、本町の一人当たりの医療費が依然として高い水準で推移していることをはじめ、昨年からの国の制度改正による高額療養費の限度額が見直されたことで、町の医療負担が増加していることや、国・県からの交付金の

減少も見込まれることなどから、本町の国保事業の財政状況は、厳しい状態であることは変わりありません。
■医療費の抑制への協力を
安定した国保事業の運営には、日ごろからの健康づくりや医療機関の適正受診による医療費の抑制が欠かせません。

■事業の健全運営を目指し
町では、被保険者の皆さんが、いつでも、どこでも安心して医療が受けられるよう、国民健康保険事業の健全な運営を目指すとともに、適正な国民健康保険税の算定と徴収に取り組んでいきますので、引き続き、町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

★問い合わせ

町民生活課 国保医療係
☎ 46・2113
(内線115)

医療費抑制に皆さんのご協力をお願いします！

■かかりつけ医をもちましょう。

同じ病気で複数の医療機関を受診すると、その都度初診料が発生するほか、検査や投薬が重複し、医療費の無駄が生じます。日頃から相談できるかかりつけ医をもちましょう。
そして、今受けている治療に不安が生じた場合などは、かかりつけ医に相談をしましょう。

■適正受診を心がけましょう。

休日や夜間に医療機関を受診すると割増料金がかかります。急病など緊急性が高い場合を除き、診療時間内の受診を心がけましょう。
また、薬は飲みあわせにより、副作用を生じることがあります。お薬手帳を活用し、医師や薬剤師と相談しながら適正な服薬管理を行いましょう。

■病気の予防に努めましょう。

定期的に健康診断を受け、病気の予防や早期発見に努めましょう。
また、不適切な食生活、運動不足、喫煙習慣などは生活習慣病を招く原因になります。日ごろから健康管理を意識することも医療費抑制につながる大切な取り組みです。

■ジェネリック医薬品を活用しましょう。

ジェネリック医薬品とは、最初に作られた薬（新薬）の特許が切れてから、新薬と同じ成分で製造された医薬品です。
新薬と比べ、開発コストなどが抑えられる分、安価にすることができるため、特に継続して薬を服用している人は、薬代の負担軽減につなげることがきます。処方希望の方は医師や薬剤師にご相談ください。

■未来かなえネットに加入しましょう。

気仙管内の病院や介護サービス事業所など、医療・介護に携わる専門職間の連携を生み出す仕組みとして、本年4月に運用開始される「未来かなえネット」。こちらに登録すると、自分の病気・薬・治療状況などがシステム内で共有されるため、普段と違う病院で受診した場合でも、検査内容や薬が重複せずに治療を受けられるメリットなどが生まれます。
現在、利用者の登録(無料)を受付中です。詳しくは、一般社団法人未来かなえ機構(☎22-7261)までお問い合わせください。

海外の文化や生活に触れた4人が成長の姿
中学生海外派遣報告会を開催

1月29日、平成27年度住田町中学生海外派遣事業報告会が役場町民ホールで行われました。

国際的な人材育成につなげようと昨年から展開する本事業。報告会には、今回参加した世田米中2年の佐藤創太さん、吉田夏希さん、有住中2年の熊谷真梨子さん、紺野憧和さんとその保護者、両校や町の関係者など約20人が出席しました。

報告会では、研修先であるアメリカ・サンディエゴでのホームステイ体験や、訪問したモース高校での地元高校生らとの交流などについて、4人がそれぞれ発表しました。



▲文化の違いや体験談などを一人一人が発表



▲充実の表情で活動報告を行った4人

このうち、「日本との文化や生活考え方の違いを知る」ことを目的に参加した吉田さんは、浴室とトイレが一緒になっていて慣れるのが大変だった点や、ホストファミリーとの生活の中で、スーパリーなどでの行動からアメリカ人がおらかな性格と感じた点などを紹介しました。そして、「今回の研修を通じて、日本とアメリカの違いや、自分の意思をはっきりと伝えることの大切さを身をもって感じた。今回の研修の成果を、今後の生活や将来に生かしていきたい」と結び、充実した研修の日々を振り返っていました。

統計調査員として永きにわたる貢献
今野弘さんが農林水産大臣表彰受賞

2月4日、盛岡市民文化ホールで開催された「平成27年度岩手県統計大会」において、今野弘さん（上寒倉）が農林水産大臣表彰を受賞しました。

今野さんは、昭和40年の岩手県農林業統計調査で初めて調査員として従事して以来、農林業センサスや国勢調査などの大規模調査を中心に、50年以上にわたり、わが国の行政資料整備に尽力されてきました。特に、5年に一度行われる農林業



センサスでは、昭和44年調査から平成27年調査までの全10回でいずれも調査員として従事。期限内の調査票提出をはじめ、統計調査への理解や協力も優秀であったことから、その功績が認められ今回の受賞となりました。

今野さんは、「調査を重ねるたびに、住田の農業が縮小していく実態が数字で出てしまうため、町の農業の行く末をいつも心配しながらの調査でした」と振り返りました。

また、「調査をするたびに対象世帯の農業経営者の世代が代わってしまいう家も多く、私が本当に調査員なのか疑われることもよくありました。そのなかで、波風を立てずに調査に協力してもらええるよう、言葉づかいは本当に気を付けていました」と、調査員時代の苦労を話すとともに、「地域や町の関係者、先輩調査員の方などすべての方に支えられて、ここまで続けることができました。ありがとうございます」と、周囲への感謝の言葉を述べていました。



▲書「飛翔」は交流プラザに展示しています

金澤翔子さん書「飛翔」
本町へ寄贈される

2月1日、書家・金澤翔子さんが揮毫した書「飛翔」が、金澤翔子支援グループ実行委員会気仙・福幸から本町へ寄贈されました。

役場交流プラザで行われた寄贈式には、実行委員会11人と町の職員約20人が出席しました。

寄贈者を代表し、渕上清実行委員長が「震災以降、支援を続ける住田町に対し、何らかの形で感謝を届けたい」と、何らかの形で感謝を届けたいと、多くの方にご覧いただきたいとあいさつ。これに対し多田町長が、「書をきっかけに気仙のつながりが強固になると思う。大事に展示したい」と感謝の言葉を送りました。



▲好勝負が繰り広げられた「そりレース」

時間を忘れて雪遊び
冬の種山まつり開催

2月7日、道の駅種山ヶ原ほらんで、すみた種山ヶ原直売組合と住田観光開発(株)主催の「冬の種山で雪あそび」が開催され、多くの家族連れで賑わいました。

この日は、「雪中お宝探し」や「スノーシュー体験」、「そりボウリング」といった企画のほか、豚汁サービスや食肉加工品の特価販売など、さまざまな催しが展開されました。

このうち、午前中に行われた「そりレース」には9組の親子らが参加。熱いレースを展開しました。なかには、そりに乗せた子どもに格好いところを見せようと走り出すも、勢いあまって転倒し周囲の笑いを誘う方も現れるなど、会場は大いに盛り上がりを見せていました。

みんなで協力して鬼退治
町内保育園で豆まき会

2月3日、住田ライオンズクラブ（佐々木初雄会長）の協力のもと、町内保育園で節分の行事「豆まき会」が行われました。

このうち、世田米保育園（中里学園長）では、ライオンズクラブの会員の方が扮した福の神と2匹の鬼が、園児たちが過ごす各教室に出現。園児たちは、いきなり現れた赤鬼と黒鬼の姿に驚きながらも、「鬼は外、福は内」と大きな声とともに豆を一生懸命まいて、鬼を退治していました。年長児にあたるぶどう組の吉田美柚ちゃんは、「私の心の中にいる『いじわるしちゃう鬼』も、やっつけることができましたので良かったです」と、話していました。



▲襲い掛かる鬼に負けじと豆まきで応戦

教育振興へ多大な支援
豊田通商と組合から寄付

2月9日、愛知県名古屋市の豊田通商株式会社（加留部淳社長）と同社の労働組合から、150万円ずつが本町へ寄付されました。同社と組合による寄付は平成24年度から続けられており、この日は同社の総務部社会貢献室の大崎泰男部長と組合の松井信彰中央執行委員長が来庁し、それぞれ本町の教育振興への願いを込めながら、多田町長へ寄付金を贈呈しました。

多田町長は、「毎年、寄付をいただき感謝している。いただいた寄付金は、子どもたちの居場所、学習支援に使わせていただく。これからもこの絆を大切にしていきたい」と、心からの感謝を伝えていました。



▲継続した支援に心より感謝します

町総合戦略策定に向けた 取り組み状況について

第7回総合戦略推進委員会で最終案を確認

2月10日、第7回町総合計画・人口ビジョン・総合戦略推進委員会（委員長・大杉覚首都大学東京大学院教授）がホテルグリーンベル高勤で開催され、委員13人のほか、多田町長や横澤副町長、町担当課職員などが出席しました。

はじめに多田町長が、「この1年間、町総合戦略・人口ビジョンについて検討いただき感謝する。皆さんから意見をいただきながら作った計画が、絵に描いた餅」とならないよう、今後5年間で実践・検証しながら成果を上げていく。委員の皆さんにも検証をしていただきながら、引き続きご意見をお願いしたい」とあいさつしました。

本年度最後の会合となったこの日、昨年5月から検討を進めてきた町人口ビジョン・総合戦略各案の最終案についての協議が行わ

れました。

町人口ビジョン最終案では、「まち・ひと・しごと」の創出で『住みたい町・すみたの実現』へ、平成52年の目標人口を「出生率の向上と社会増減ゼロを実現し、4000人」と

したほか、将来像を「里山で暮らし続けるため、人口が減少しても、基礎的な生活機能が保証され、住民から住みやすい・住み続けたいと思われる『住みたい町・住田』としました。委員会では、この目標を達成するための町総合戦略における必須到達目標や、重点施策などについて説明が行われました。

委員からは最終案に対する反対意見はなく、「いい計画だ」と思う「全体的によくまとまっている」と評価する一方、「内容が難しく分

かりにくい」「中学生や高校生にも内容が伝わるようにしてほしい」など、全体像をイメージしやすい簡略版の作成や、内容を分かりやすくした上での情報発信を求める声が上がっていました。

協議を終え、委員会では今回の最終案を了承し、町長に提出を行いました。

今後、町勢振興調査会による諮問・答申を経て、年度内に町総合計画・人口ビジョン・総合戦略を策定します。



結婚支援情報

ホットな出会いの交流会 1組のカップルが誕生しました

1月31日、遠野市の遠野早池峰ふるさと学校を会場に、「ホットな出会いの交流会」冬こそ婚活！ 幸せを呼ぶ座敷わらしに願いを込めてく」が、開催されました。

この交流会は、結婚を希望する30歳から50歳までの男女に出会いの場を提供し



▲そば打ちなどで親睦を深めた参加者

ようと、町結婚相談員などで構成される「ホットな出会いの交流会」実行委員会が主催したもので、この日は、町内外から男性7人、女性5人が参加しました。

交流会では、参加者一人一人が自己紹介を行ったあと、3人1組に分かれての「そば打ち体験」や、地元

の語り部の方による「昔話の聴聞」、参加者同士による1対1での「トークタイム」などを展開しながら、お互いの親睦を深め合っていました。

最後に、イベントを通じて好印象を持った相手の名前を記入する機会が設けられ、見事1組のカップルが成立しました。

スポーツ安全保険に加入しましょう！

「スポーツ安全保険」は、アマチュアのスポーツ・文化・ボランティア・地域活動を行う団体を対象に、グループ活動中の傷害事故、賠償責任を負う事故を補償する保険です。

平成28年度からは、加入人数要件が「5人」から「4人」に改正され、より加入しやすくなりました。皆さんも、万一のケガや事故に備えて、「小さな掛け金、大きな補償」のスポーツ安全保険に積極的に加入しましょう！



■平成28年度「スポーツ安全保険」加入区分・掛金・補償額一覧

対象者	補償対象活動	加入区分	年間掛金 (1人あたり)	補償額（傷害保険）			
				死亡	後遺障害 (最高額)	入院 (日額)	通院 (日額)
子ども (中学生以下)	団体活動全般	A 1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円
	団体活動全般	AW	1,450円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円
	上記以外(個人活動など)			100万円	150万円	1,000円	500円
大人 (高校生以上)	スポーツ活動、指導・審判 ※高校生以上64歳以下	C	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円
	スポーツ活動、指導・審判 ※65歳以上	B	1,200円	600万円	900万円	1,800円	1,000円
	文化・ボランティア・ 地域活動など	A 2	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円
全年齢	危険度の高いスポーツ活動 (アメフト、山岳登山など)	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円

※傷害保険のほか、対人・対物賠償責任保険、突然死葬祭費用保険についても、補償額が設定されています。ただし、加入区分により補償額や支払限度額が異なります。詳細はお問い合わせください。

★問い合わせ 教育委員会 生涯学習係 ☎46-3863 (内線255)

■書名 もうぬげない

■著者名 ヨシタケシンスケ

「ぼくのふくがひっかかってぬげなくなって、もうどのくらいたったのかしら」。シュールな出だしでスタートする、服が脱げないままの小さな男の子がなんとかしようと奮闘するお話。ヨシタケ流ユーモアが炸裂の愉快な絵本です。(児童向け)



■書名 スクラップ・アンド・ビルド

■著者名 羽田 圭介

「早う死にたか」。毎日のようにぼやく祖父の願いを叶えてあげようと、共に暮らす孫の健斗はある計画を思いつく。無職の孫が、全身全霊で祖父自身とその願い、介護に向き合ううちに…？第153回芥川賞受賞作。(一般向け)



■書名 アナと雪の女王オラフはスーパースター！

■著者名 エリカ・デイビット

冬にしては暖かい日が続く、平和なアレンデル王国。でもこのところ、船からおろしたばかりの魚やティルダのパイのお店からパイが盗まれる事件が起きたり、さらにアレンダーの洗濯店でもおかしなことが…。アナとエルサの仲良し姉妹は事件を解決できるのか？(児童向け)



■書名 患者さまは外国人

■原案 山本 ルミ

お茶目な無国籍ドクターと、そこで懸命に働くナースと外国人患者とのにぎやかな日常コミックエッセイ。傷口にコーヒーの粉をかける!? 断食中だから点滴は無理!? ウォッカが薬!? 今日もしまじまな外国人の習慣や常識の違いに驚かされっぱなし！(一般向け)



■新着図書紹介 (中央公民館図書室)

お問い合わせは、☎46・3863まで

大船渡消防署住田分署からのお知らせ

★問い合わせ 大船渡消防署住田分署 ☎46-2119

本年も、下記のとおり「春季全国火災予防運動」および「山火事予防運動」が展開されます。“火災が起りやすい場所や環境でたき火をしない”“火遊びをしない”ことなどを心がけるとともに、火の取り扱いには十分注意しましょう。また、自宅でも消火器や火災警報器設置といった対策をしっかりと行いましょう！

○平成28年春季全国火災予防運動

★運動期間 3月1日（火）～3月7日（月）

★全国統一標語

「 無防備な 心に火災が かくれんぼ 」

○平成28年全国山火事予防運動

★運動期間 3月1日（火）～5月31日（木）

★全国統一標語

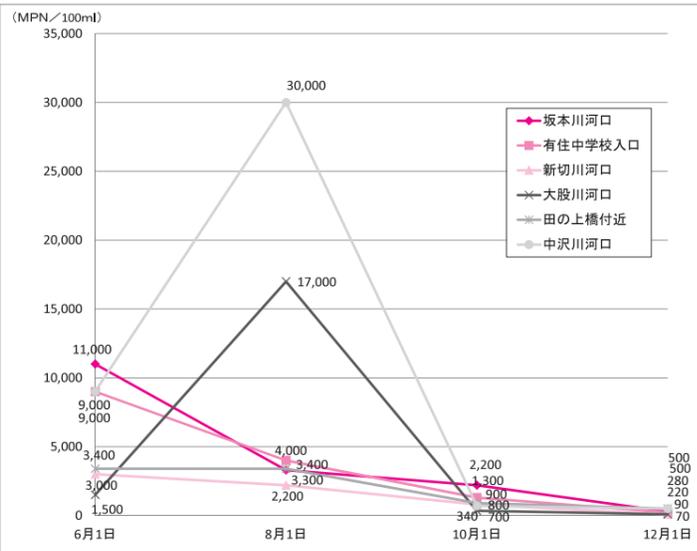
「 誓います 森の安全 火の始末 」

○宝くじ助成を活用し、防火防災訓練用資器材を整備しました

大船渡地区消防組合消防本部では、(財)自治総合センターの「宝くじの社会貢献広報事業」の助成を活用し、消火訓練用放射器具・模擬消火訓練装置セット一式を3セット整備しました。

これらの器具は、婦人消防協力隊など、町民の方々に初期消火の重要性を認識していただくとともに防火・防災意識の高揚を図るため、消火訓練や防火座談会などに活用していきます。

★問い合わせ 大船渡地区消防組合消防本部 ☎27-2119



【図1】平成27年度住田町河川水質検査結果 (大腸菌群数)

町では、気仙川流域の水辺と水資源の保全を目的に、毎年水質検査を実施しています。このたび、平成27年度の検査結果がまとまりましたのでお知らせします。

◆平成27年度の検査結果
水素イオン濃度、生物学的酸素要求量、溶存酸素量、浮遊物質、大腸菌群数の5項目で検査を実施し、おおむね良好な結果となりましたが、以前から数値が高い傾向にある大腸菌群数は環境基準値(1000MPN)を大きく越えていました(図1)。

◆水質悪化の原因として
水質の悪化には複合的な理由がありますが、主に生活雑排水による影響や気仙川の水量が減少し、河川の自浄作用が弱くなっていることなどが要因として考えられます。

健全な水環境の保全には、生活雑排水への浄化対策が

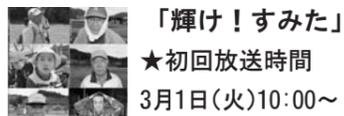
必要となります。各家庭においても、「気仙川清流化対策10カ条」の取り組みなどに努めながら、清流気仙川を未来に引き継いでいけるよう、これからも水質改善にご協力をお願いします。

○気仙川清流化対策10カ条
・台所には目の細かいストレーナーや三角コーナーを設置する。
・天ぷら油はできるだけ使い切る。
・鍋や皿の汚れは紙などで拭いてから洗う。
・調理くずは、コンポストなどで堆肥として使う。
・洗髪や洗車時などでの洗剤の量を減らす。
・水路や側溝などは定期的に清掃する。
・川にごみを捨てない。
・庭木などへの肥料や農薬は、適量使用を心がける。
・下水道への接続や浄化槽の設置を進める。
・浄化槽は定期的に清掃・点検をする。

★問い合わせ
町民生活課生活係
☎46-2113
内線(114)

SUMITA 3月の放送プログラムのお知らせ

★問い合わせ
住田テレビ ☎47-3112



「輝け! すみた」

★初回放送時間

3月1日(火)10:00~

※その他の放送日、時間は電子番組表をご覧ください。

★「住田町商工会に迫る」

・千田明夫会長にお話を伺いながら、商工会のこれまでの歴史や取り組み、今後の展望などについてご紹介します。

※「電子番組表」の使用方法について

住田テレビの番組表を見たい時は、テレビのリモコンの「番組表(EPG)」ボタンを押してください。放送時間などが確認できます。



「住田町の今」

★初回放送時間

3月1日(火)12:30~

※その他の放送日、時間は電子番組表をご覧ください。

★「住民交流拠点施設について」

・中心地域の活性化に向け、整備が進められる施設の全体の計画概要と現在の整備状況についてご紹介します。



町民による

自主制作番組

「ねんぷにやっべし」

★初回放送時間

3月1日(火)15:00~

※以降、毎日15:00~と19:30~に放送します(土曜日のみ15:00~の放送はありません)。

★今回は企画番組として、「仲間と再会・熱血交流異団体 in 八戸」をお届けします。

きこえと補聴器の相談

実施日 3月30日(水)・4月27日(水)

時間 10:00~12:00 住田町農林会館

14:00~15:00 八日町集会所

相談内容 ●聴力測定による医療機関及び行政への申請指導 ●補聴器の定期点検、無料試聴貸し出し

認定補聴器専門店

認定補聴器専門店 大船渡店: 大船渡市盛町字町10-17
岩手リオン ☎0192-21-1252
補聴器センター URL http://www.iwaterion.co.jp

出光興産株式会社特約店

(有)横澤儀商店

プロパンガス・ガソリン・軽油・灯油

世田米字川向34-3

☎46-2483



わんだい

上代医院

医院長 安井 豊

住田町世田米字大崎32-3

☎46-3125 (FAX 共通)

■緊急速報メールによる「特別警報」の配信について

昨年11月から、携帯電話やスマートフォン向けの緊急速報メールで、気象庁が発表するすべての特別警報が配信されていることを皆さんはご存知ですか？

このメールを受信した場合、重大な災害の起こる可能性が高い状態であることを示していますので、ただちに市町村が出している避難情報などを確認し、周囲の状況に応じて適切な行動をとってください。

●『特別警報』とは…？

「平成27年9月関東・東北豪雨」や「東日本大震災」のように、その地域にとって数十年に一度の規模の災害が起こる可能性が著しく高い状態となった場合に気象庁が発表する警報です。

★お問い合わせ

気象庁盛岡地方気象台 ☎019-622-7870



地域情報通信基盤施設 使用料の減免申請

町では、平成28年度地域情報通信基盤施設使用料の減免申請を受け付けています。

該当される方は、期限までに申請書類を提出してください。

★減免の対象となる方

- ①生活保護世帯
- ②65歳以上の1人暮らし世帯で平成27年度の町民税が非課税の方

★減免金額 1,000円/月

★申請方法

役場窓口にて備え付けている申請書に記入の上、企画財政課まで提出してください。

内容審査後、決定通知を送付します。

★提出期限 3月18日(金)

★留意事項

減免の対象となった方は、施設使用料を一括払いでお支払いいただくこととなります。

★問い合わせ

企画財政課 企画係 ☎46-2114 (内線225)

手話の基本を 身につけませんか

聴覚障がいの方の生活や福祉制度について理解を深めるとともに、手話奉仕員の養成を目的とした手話講座を開催します。詳しくはお問い合わせください。

★日時

4月20日(水)～8月31日(水)
19:00～21:00 (全11回開催)
※初回のみ18:30～21:00

★会場

- ①4・6・8月 陸前高田市コミュニティホール
- ②5・7月 大船渡市カメラホール

★対象者

原則、全日程受講できる方

★定員数

20人(住田町は2人予定)

★受講料

3,240円(テキスト代として)

★申し込み期限

3月23日(水)

★問い合わせ

保健福祉課 福祉係 ☎46-3862 (内線133)

岩手大学による市民講座 「こころのじかん4」

岩手大学では、以下のとおり講座を開催します。

★日時・内容

①3月6日(日) ※定員30人
(陸前高田市コミュニティホール)
「震災を体験した子どもへの保護者の対応」

織田 信男(岩手大学人文社会科学部教授)

②3月14日(月) ※定員20人
(大船渡市リアスホール)

「リラクゼーションでよい眠り」
佐々木 誠(岩手大学三陸復興推進機構特任准教授)

③3月16日(水) ※定員30人
(釜石市岩手大学釜石サテライト)
「家族が葛藤を乗り越える物語」
奥野 雅子(岩手大学人文社会科学部准教授)

★対象者・申し込み期限

中学生以上。講座開催日の2日前までに申し込みください。

★申し込み・問い合わせ

岩手大学釜石サテライト ☎0193-55-5691

国民年金などに関する社会事務相談(3月分)

一関年金事務所では、社会事務相談会を以下のとおり開催します。予約制となりますので、相談を希望する方は相談を希望する日の前日までに一関年金事務所(☎0191-23-4246)までお申込みください。

会場	開催日	開催時間
陸前高田市役所	17日(木)	10:30～15:30
大船渡商工会議所	24日(木)	10:30～15:30

県立大船渡病院の内科・循環器科の受付方法が変更されます

県立大船渡病院では、救急医療およびがんなどの高度専門医療の提供体制の充実を目的に、平成28年4月1日から、特に医師不足が深刻となっている内科と循環器科外来の受付方法を下記のとおり変更します。ご理解とご協力をお願いします。

●新患受付

かかりつけ医療機関からの紹介状をお持ちの方のみ受け付けます。休診日がありますので、かかりつけ医療機関を通じて事前予約することをおすすめします。

●再来受付

予約の方のみとし、症状が安定している方は、地域の医療機関を紹介させていただきます。CT・MRIの精密検査や手術が必要となった場合は当院で検査を実施するなど、かかりつけ医療機関と連携していきます。

★問い合わせ

県立大船渡病院 地域医療福祉連携室 ☎26-1111

国土交通省ハザードマップポータルサイトのご案内

国土交通省が公開する「ハザードマップポータルサイト」では、全国の市町村のハザードマップを閲覧できるほか、防災に役立つさまざまな情報を、一つの地図上で重ねて閲覧することができます。皆さんの防災対策にどうぞお役立てください。

★サイトURL

<http://disaportal.gsi.go.jp/>

★問い合わせ

東北地方整備局三陸国道事務所 調査第二課 ☎0193-71-1742

「建築物防災週間」 防災相談所を設置します

県では、3月1日から7日までの「建築物防災週間」に合わせ、防災相談所を設置し、建築に関する地震対策のほか、火災や崖などの建築物の防災に関する住民の皆さまの相談にお答えします。ぜひご利用ください。

★問い合わせ

県県土整備部 ☎019-629-5935
大船渡土木センター ☎27-9919

陸上自衛隊岩手駐屯地 音楽隊定期演奏会の開催

★日時

3月12日(土) 15:00～

★場所

盛岡市民文化ホール(マリオス) 大ホール

★入場料 無料

★定員

先着入場。定員になり次第、入場を制限しますのでご注意ください(整理券は発行しません)。

★問い合わせ

陸上自衛隊岩手駐屯地 司令業務室 ☎019-688-4311

国税専門官採用試験 のお知らせ

仙台国税局では、バイタリティーあふれる税務職員を募集しています。

★受験資格

- ①昭和61年4月2日～平成7年4月1日生まれの者
- ②平成7年4月2日以降生まれで、大学を卒業した者または平成29年3月までに、大学を卒業する見込みの者

★受験申込受付期間

4月1日(金)～13日(水)

★受験申込方法

原則、インターネットでの申し込みとなります。

★第1次試験日

5月29日(日)

★問い合わせ

仙台国税局人事第二課 ☎022-263-1111 (内線3236)

工事などの入札結果をお知らせします

工事・業務名	契約年月日	契約額	契約業者
住田分署耐震診断業務委託	28年1月7日	2,916,000円	(有)佐藤設計
旧川口簡水施設解体工事	28年1月13日	928,800円	(株)ヤマカ

住田の
すまいる

住田住宅産業(株) ☎46-2465

岩手県住田町産
ありすぽーく

地産地消
生産農場

有ありす畜産
TEL0192(48)2019

R107 ありす畜産直売所 TEL0192(46)2286

相続、売買による不動産の名義変更
担保権の抹消・不動産登記

有岡司法書士事務所
司法書士 有岡 智昭

登記に関する相談はいつでもお受けします。
電話で予約をお願いします。(土日可)

☎0192-47-4578

世田米字世田米駅113(クロネコヤマトさん向かい)

情報家電のことなら
お任せください!

(有)ハーネット

<http://www.a-hanet.co.jp>
住田町世田米字川向12-1
☎46-2363 FAX 49-1015

